NEWS RELEASE

公益財団法人
福岡市文化芸術振興財団
Fukuoka City Foundation for Arts and Cultural Promotion

2021 年 9 月 15 日

多様な人が、「一緒にアートを見る」という行為の先には、 いったい何があるのか。
「全盲の美術鑑賞者」を追った爽やかなドキュメンタリー！

ドキュメンタリー映画「白い鳥」上映会

福岡市文化芸術振興財団では、 美術作品を介した「対話」が、 年齢や性別、 障がいなどに関わらずさまざまなひとをつなぐ可能性に着目し、「対話型」の美術鑑賞会を行うとともに、 より多くの方に、 多様な人が一緒に鑑賞をする先に何があるのか、 考えていただく機会として、 下記のとおり映画「白い鳥」の上映会を行います。
※鑑賞会の情報は別紙チラシをご覧ください。
なお、 当日取材のご希望がありましたら、 下記までご一報ください。

目が見えないひとは、 どうやってアートを見るのか？
全盲の白鳥建二が編み出したのは、 見える人と見えない人が一緒に「言葉」や「会話」を使って「見る」という、ユニークな鑑賞方法だった。
カメラは、 見えない人の日常、 そしてその白鳥建二と友人たちによる、笑いと歓びに満ちた美術鑑賞の旅路を追う。
見終わったあと、 世界の彩りが変わってみえるような 50 分。

上映時間：50 分　監督：三好大輔／川内有緒

▼日時 2021 年 10 月 2 日（土）15:00 ／ 18:00 ★
2021 年 10 月 3 日（日）10:30（音声ガイド版）★ ／ 15:00
※開場は上映開始の 30 分前
※★マークは上映終了後、アフタートークを行います。

▼会場 福岡アジア美術館　あじびホール
（福岡市博多区下川端町 3-1 8F）

▼チケット料金
全席自由　一般　1,000 円／ 25 歳以下　800 円
＊25 歳以下要年齢確認。
＊催事中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはいたしません。

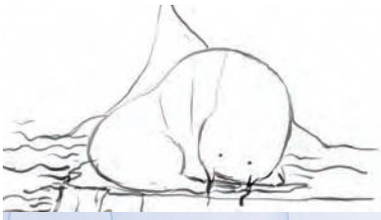
▼前売チケット取り扱い　※チケット発売中
・チケットぴあ　【P コード：551-626】
0570-02-9999
・ローソンチケット　【L コード：83850】
※福岡アジア美術館・財団ではチケット取扱いはございません。

▼鑑賞サポート
●全編、日本語字幕付。
●UDCast®※ 対応作品。
※スマートフォンを使って字幕や音声ガイド再生等を行うことのできる無料アプリケーション。
●10 月 3 日（日）10:30 からは、音声ガイド版を上映します。
※音声ガイド：映像に映る情景や動きなどを音声で解説。
●車椅子スペースあり（付添者 1 名まで無料
9 月 24 日（金）17:00 までに財団（092-263-6265）まで要申込。

主催：（公財）福岡市文化芸術振興財団、福岡市
共催：福岡アジア美術館
福岡県社会的課題解決に貢献する文化芸術活動推進費補助金採択事業

【新型コロナウイルス感染症対策について】
※国や自治体の方針、関係団体のガイドラインに沿った開催となります。

【お問合せ】
（公財）福岡市文化芸術振興財団　宮村
TEL : 092-263-6265（平日 9:30 ～ 17:00）
Email：y.miyamura@ffac.or.jp



ドキュメンタリー映画

白い鳥 上映会

監督 三好大輔／川内有緒
上映時間 50 分

日本語字幕付
「UDCast®」対応

10.2（土）	10.3（日）
15:00〜	10:30〜★ 音声ガイド版
18:00〜★	15:00〜

開場は 30 分前。
★：アフタートーク（詳細はホームページ等でお知らせします）。

※全編、日本語字幕付きです。

※10 月 3 日(日)10:30 の上映は、音声ガイド版（映像に映る情景や動きなどを音声で解説）となっております。

※車椅子スペース有（付添者 1 名まで無料／9月24日（金）17 時までに、福岡市文化芸術振興財団 TEL092-263-6265 まで要予約）

この作品は、UDCast® に対応しています。

「UDCast®」のダウンロードはこちら
https://udcast.net

※スマートフォンを使って字幕や音声ガイド再生等を行うことのできる無料アプリケーションです。

目が見えないひとは、どうやってアートを見るのか？

全盲の白鳥建二が編み出したのは、見える人と見えない人が一緒に「言葉」や「会話」を使って「見る」という、ユニークな鑑賞方法だった。
カメラは、見えない人の日常、そしてその白鳥建二と友人たちによる、笑いと歓びに満ちた美術鑑賞の旅路を追う。
一緒にアートを見るという行為の先には、いったい何があるのか。
「見えない」からこそ、見えてくるものとは。
そして「読み返すことのない日記」とは――。
見終わったあと、世界の彩りが
変わってみえるような 50 分。

○料金
一般 1,000 円／25歳以下 800 円

○チケット取り扱い
チケットぴあ（Pコード551-626）
0570-02-9999
ローソンチケット
（Lコード 83850）
WEB 購入はこちら▶

○会場
福岡アジア美術館 あじびホール
（福岡市博多区下川端町3-1リバレインセンタービル 8 階）

関連企画
アートを介した対話プログラム

3 種類のプログラムを開催します。

白鳥建二さんとアジア美術館での美術鑑賞会もあります。

※詳細は裏面をご覧ください。

主催｜（公財）福岡市文化芸術振興財団、福岡市　共催｜福岡アジア美術館　福岡県社会的課題解決に貢献する文化芸術活動推進費補助金採択事業

アートを介した対話プログラム

福岡市文化芸術振興財団では、美術作品を介した「対話」が、年齢や性別、障害などに関わらず、さまざまな人々をつなぐ可能性に着目し、３種類の「対話型」美術鑑賞会を開催します。

A 白鳥建二さんとあじびで鑑賞会

映画『白い鳥』にご出演のお二人をナビゲーターにお招きし、アジア美術館で鑑賞会を行います。

10.1（金）15:00〜17:30
2（土）10:00〜12:30

ナビゲーター　白鳥建二、佐藤麻衣子
会場　福岡アジア美術館 7F アジアギャラリー
料金　各回 1,000 円（保険料込み）
定員　各回８名程度（抽選）
対象　中学生以上どなたでも
申込締切　９月 13 日（月）必着

白鳥建二

撮影：市川勝弘

生まれつき強度の弱視で、９歳の頃からほぼ全盲。26 才のころに美術鑑賞に関心を持ちはじめ、会話をしながら作品鑑賞をする活動を始める。視覚に障害のある人とない人が一緒に鑑賞するプログラムを約 20 年行っている。

佐藤麻衣子

撮影：スズキアサコ

水戸芸術館現代美術センター教育普及学芸員を経てフリーランス。これまでに、赤ちゃんから高齢者まで、聴覚・視覚障害者、発達障害児や朝鮮学校を対象にプログラムを実施。

B そうぞうとコミュニケーションを楽しむ対話型鑑賞

「みる、考える、話す、聴く」鑑賞を通して参加者同士のコミュニケーションの楽しさも体験しましょう。※C とセットでの参加も可。

10.17（日）14:00〜16:00

ナビゲーター　春日美由紀
会場　福岡アジア美術館 8F 会議室
料金　1,000 円（保険料込み）
定員　20 名程度（抽選）
対象　「対話型鑑賞」や「ケア」に興味のある方ならどなたでも
申込締切　10 月 4 日（月）必着

春日美由紀

アート・コミュニケーション研究センター 研究員。専門領域は美術教育。35 年間美術教諭として ACOP の実践を積む。フィールドは幼稚園から大学、美術館、企業までと多岐にわたる。

C ケア × 対話型鑑賞

オンライン開催

「対話型鑑賞」の鑑賞法を応用し、福祉や医療など対人援助に携わる方に向けたワークショップを実施します。※Zoom（ウェブ会議ツール）を使用。

10.31（日）14:00〜17:00

ナビゲーター　伊達隆洋
料金　1,000 円
定員　20 名程度（抽選）
対象　「対話型鑑賞」と、医療・福祉などの「ケア」に興味のある方や現場に関わっている方
※PC でご参加ください。
申込締切　10 月 4 日（月）必着

伊達隆洋

アート・コミュニケーション研究センター研究員／京都芸術大学アートプロデュース学科 准教授・学科長／関西医科大学 非常勤講師。心理臨床現場での実践を行いながら、人の持つ「自分」という感覚とコミュニケーションの関係を研究。

申込み方法

往復はがき、または WEB フォームに以下の項目を記入の上、お申し込みください（この方法でのお申し込みが難しい場合はご相談ください）。

●記載事項　ご希望の観賞会（A〜C ※A は日程も）、お名前（ふりがな）、電話番号、ご住所、ご年齢、応募動機

※抽選の結果は、申込締切日から約１週間後にはがきまたはメールでお知らせします。

WEB 申込フォーム

※受付は、開始の 30 分前から。※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により内容が変更となる場合がございます。

お申込･お問合せ（公財）福岡市文化芸術振興財団
〒812-0027 福岡市博多区下川端町 3-1 リバレインセンタービル８階
TEL 092-263-6265（平日 9:30-17:00）FAX 092-263-6259
http://www.ffac.or.jp